

こうべ山の小学校プログラム報告

「親子で木こり」

2025年12月13日（土）に、こうべ山の小学校のプログラム「親子で木こりday」が開催されました！今回のイベントは、親子で一緒に森の知識を学び、森林整備を体験するという、少し専門的で貴重な体験となりました。

プログラムは、まず座学で知識編からスタート。なぜ森を人が整備する必要があるのか。を学びました。その後、子どもたちは、ヘルメットと軍手をしっかり着用し、刃物の使い方や森での注意点を学んだ上で、真剣な表情でノコギリを使って親子で協力しながら間伐に臨みました。

いよいよ木が倒れるという瞬間に、安全のためにプロの木こりさんと同じように「倒れます！」と、小さな体で一生懸命に声を出す子どもたちの姿はとても可愛らしかったです。



倒した木は、その後の処理も大切な作業です。倒れた木は、まず手ごろな長さに短く切り分けられ、子どもたちは手鋏（てばさみ）を使って枝を丁寧に落とす作業にも取り組みました。こうすることで、木が土に還りやすくなり、森の栄養になるという自然のサイクルを学びました。

また、切った木は、コースターや薪にするために持ち帰られました。この本格的な体験は、子どもたちにとって大きな喜びと学びとなったようで、「ノコギリで木を切れたのが楽しかった」「木を切る方法を知れて貴重な体験になった」といった感想が多数寄せられました。

今回の「親子で木こりday」は、森の持つ大きな力と、それを守り育てることの大切さを、親子で一緒に感じていただけた最高の機会となりました。ご参加いただいた皆様の真剣な姿勢と、森を愛する温かい気持ちに、心より感謝申し上げます。

報告作成：企画運営者モリノヒミツキチ

